

高齢者施設に伺ってのお客様参加型コンサートの共演者精選による更なる質量充実施策

[目 次]

1. 法人概要
2. 本事業の目的
3. 具体的事業内容
4. 一流演奏家等の効用
5. 期待される効果
6. 今後の課題

1. 法人概要

- ・2011年8月、横浜市にて設立。
- ・2012年4月、福岡市に移転。

[理念]

(1) 社会福祉と音楽普及の連動による社会貢献活動

(2) すばらしい音楽にジャンルの垣根がないことの発信

[活動内容]

普段、生の音楽に接する機会の少ない方々の為に、高齢者施設等に伺ってのお客様参加型コンサートを2012年12月～継続拡大中。

お客様と演奏者が一体となって、楽しく、心身両面に亘り、有意義な時間を共有することにより、高齢者の自立、残存機能確保を目指す活動を指向。

[実績]

2012年12月～2017年3月迄、合計227回実施。

[2014年度]

地域に密着した社会貢献活動として、プロ演奏家との共演による質の向上実現

[2015年度]

1. 共演者: 更に、バリエーティ拡大を趣旨として、コンサートに必須のピアニストに加えて、以下と共演(但し、(2)、(3)は自費により実施)。

(1) 地元演奏家

(2) 日本を代表する演奏家

(3) 障がいを持つ演奏家

2. 対象施設

・比較的、安価な謝礼の施設も対象に加え、その価値を体感いただくよう、努めた。

[2016年度]

昨年度の施策を継続し、趣旨の実現を目指し、真に活動趣旨に賛同していただける演奏家との共演拡大に注力。

3. 具体的事業内容

・クラシックに加えて、叙情歌、懐メロジャンルの垣根を超えた音楽について、お客様にも歌でご参加いただくコンサートを開催

(昨年度は、毎回、「テレビ、ラジオ、映画で奏でられた名曲を楽しみましょう!」「ご当地音楽特集」「音楽で夢を見ましょう!」「学校で習った名曲を楽しみましょう!」「もうすぐ春!音楽で寒い冬を吹き飛ばしましょう!」等コンセプトを明確化)

[対象施設]

(1) 比較的高額の謝礼(¥10,000以上/回)の2施設(グッドタイムホームグループ(海の中道、薬院))

(合計7回開催)

(2) 比較的安価な謝礼(¥3,000~5,000/回)の6施設(ホスピタルメント福岡天神、早稲田イーライフ福岡

ドーム南、ケア・ラポート野間、スター福祉村デイサービス、スターフィールドデイサービス、

生活倶楽部ウィズ長丘Ⅲ)(合計20回開催)



4. 一流演奏家等の効用

NO.4

- ・トランペット、声楽、マリンバ等種々の楽器との共演は高齢者との一体感醸成に有益
→地元演奏家の演奏機会拡大との連動
- ・MDCの趣旨に賛同する一流演奏家等との共演は間違いなく、お客様にそのすばらしさが伝わり、感動に包まれる(逆に言えば、単に質の高い演奏のみを追求する演奏家は相応しくない)。

[2016年度共演者]

地元演奏家	コンサートに必須のピアノに加えて、声楽、マリンバ等
一流演奏家	①古賀久美子氏(プロオーケストラとの共演、九響エキストラ演奏、西日本国際音楽コンクール審査員を務められ、更に、KBCラジオ「おはようクラシック」のパーソナリティーをされているクラリネット奏者として活躍中) ②榎元圭氏(N響コンサートマスター篠崎史紀氏、元札幌交響楽団コンサートマスター三上亮氏等一流演奏家の伴奏ピアニスト等として活躍中) ③菊池啓子氏(世界的トランペット奏者ヨーコ・ハルヤンネ氏、N響首席トランペット奏者菊本和昭氏等一流演奏家の伴奏ピアニスト等として活躍中)
障がい者演奏家	・大城克月氏(盲目で知的障がいを持つクラリネット奏者)

5. 期待される効果

(1) 質的効果

高齢者のQOL向上	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的には、脳科学の観点から、脳内物質の分泌が増加し、生きる意欲の向上につながるという検証が行なわれている段階。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が家族、近隣住民と一緒に音楽を楽しむ機会の創出 ・文化芸術活動による地域活性化 ・近隣住民の生涯学習の場の提供 ・音楽家が身近な存在であることの発信による生活に密着した文化芸術交流
地元のプロ音楽家育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するプロ音楽家の活動機会拡大 ・地域に定住して音楽活動を展開する人材育成
一流演奏家、障がいを持つ演奏家との交流実現	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動に賛同するトップレベルの演奏家との心のふれあい ・障がいを持つ演奏家による力の付与

(2) 量的効果

① 謝礼レベル

項目	内容
補助金による謝礼レベルアップ効果	MDC(活用前) ¥4,400/人 → (活用後) ¥6,800/人 共演者(活用前) ¥3,800/人 → (活用後) ¥17,800/人
謝礼レベル向上	2014年度: 2施設が ¥10,000/回 → ¥15,000/回にアップ 2015年度: 2施設が ¥15,000/回をそれぞれ ¥20,000/回、¥18,000/回にアップ 2016年度: 2施設が ¥5,000/回を共演者限定で ¥7,500/回にアップ。

② 新規開催施設

スターフィールドデイサービス、生活倶楽部ウイズ長丘Ⅲ

6. 趣旨実現の為の課題

(1) 質的側面

パフォーマンス力の一層の向上
(本活動に理解を示すデイサービス施設での介護業務
継続)

それぞれの施設の特徴に応じたフレキシ
ブルな対応による訪問施設の更なる理解
度向上

- ①一層、会場一体となった盛り上がりの追求。
 - (A)飽くなき音楽力向上
 - (B)回想法も含めた更なるトーク力向上
 - (C)介護スタッフの協力度向上
- ②引続き、趣旨に賛同する共演者拡大に注力。

(2) 量的側面

事業化に向けた施策の具体的展開。

- ①引続き、メディアとの連携に注力
 - ・2014～2016年度は以下を実施
 - (A)RKBラジオ「サンデースウィングライフ」出演(2014年度)、KBCテレビ「アサデス」出演(2015年度)
 - (B)毎日新聞「この人」掲載(一昨年度)、高齢者施設とタイアップした西日本新聞記事掲載(2015年度)
 - (C)熊本日日新聞の震災支援活動掲載(熊本市内の避難所3ヶ所に伺っての慰問演奏)、前年度に続
いての高齢者施設とタイアップした西日本新聞記事掲載(2016年度)
- ②スポンサー探索の継続的实施